

## 審議会会議録

会議名称	令和6年度第2回大滝区地域協議会		
議 題	議案第1号 令和5年度大滝区振興基金対象事業実績について 議案第2号 令和7年度大滝区振興基金対象事業計画について 議案第3号 地域自治区について		
開催日時	令和6年10月30日（水） 午後3時00分～午後4時00分		
場 所	伊達市大滝総合支所 1階 防災多目的ホール		
出席者	出席者8名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1. 開会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。			
2. 市長あいさつ 今回の議案は令和5年度の事業実績と次年度に向けた予算関連なので、皆様の速力で忌憚ない意見をたくさんいただきたい。また、前回頭出しさせていただいた地域自治区についてもこの場で議論を深めていただきたい。			
3. 会長あいさつ 地域自治区に関しては期間が満了したあとのことを考えて議論をしていただきたいので、よろしくお願いたします。			
6. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に元谷委員、中川委員を指名			
7. 議題 議案第1号 令和5年度大滝区振興基金対象事業実績について 事務局より説明（別紙資料のとおり）			
○質疑応答 会 長：質問、意見等はありませんか。 委員全員：〈なし〉  議案第2号 令和7年度大滝区振興基金対象事業計画について 事務局より説明（別紙資料のとおり）			

## ○質疑応答

会 長：質問、意見等はありませんか。

委 員：高齢者生活援助事業は業者が行っているのか。シルバー人材センターだとしたら労賃などもあがっているが、単価はあがらなくても大丈夫なのか。

事務局：社会福祉協議会に委託している事業である。単価は変わっているだろうが、予算内で実施してもらっている。

委 員：レイクカウチン町親善訪問団交流事業の新規でホームステイ受け入れ先に謝礼金を払うことに関して要項等はあるのか。

事務局：企画財政課までの決裁で実施の承諾を取っているため要項等はない。

委 員：相互交流のため持ちつ持たれつだったはずだが、人数の関係上難しくなってきたのか。

事務局：ホストファミリーの経済的な負担が多く、まして補助金などもない。受け入れてくれる人の数も減っているため苦肉の策。

委 員：敬老会は、今年はお弁当配付の他に行事も実施したようだが実績人数は何人だったか。

事務局：基幹集落センターで軽スポーツを実施したが、参加者は14名だった。

委 員：お弁当の方が希望は多いのか。

事務局：圧倒的に多い。

委 員：タキシーの利用状況を教えてほしい。

事務局：9月の時点で2名程度の利用のようだ。

委 員：利用料金が高いと聞いている。敬老会をやるよりも移動手段など生活しやすくなる方へ手厚く援助してはどうか。市内の方では敬老会のような行事は実施しているのか。

会 長：市内では大滝区とは異なり、市から自治会へ補助金がありそのお金で記念品を購入し高齢者に配付しているようだ。ただ、自治会への加入率が悪いなど、自治会により対応が異なり敬老会は実施していないのが現状のようだ。自治会に加入している方の名簿を取得するのも困難なのが現状。

委 員：敬老会はそもそも必要なのか。

会 長：必要なのかどうかも含めて今後検討が必要かと思う。大滝だけ特別でなく合併しているのだから伊達市とできるだけ統一した方がいいと個人的には思う。

市 長：お弁当配付だとお弁当代がかかるが、行事に集まっていたら参加された方への飲食代のみで済む。敬老会をどのようなスタイルで実施していくか委員の皆さんの意見があったら教えてほしい。

委 員：行事を催してもさほど人数が集まらないなら、基金にも限りがあるのでもうやめてもいいのではないかと。どれだけの人が敬老会を希望しているのか。やめると言ってもそんなに反対する人がいないのではないかと。

委 員：自治会があるのだから大滝区独自の事業があってもいいし、何もかも市内と合わせる必要はないと思う。ただ、区民が情報を聞き賛成反対が言える環境が必要なのではないかと。区民の声は拾っているのか。

事務局：昨年アンケートを実施していて、大多数がお弁当配付を希望している。

会 長：ただ、お弁当配付がメインではない。新型コロナウイルスのせいで行事が実施できなかったための代替え措置である。

委 員：メインでなくても、それを希望する方がたくさんいるならメインになってもいいのではないかと。

委 員：今すぐどうにかすればという話ではなく、検討する時期にきているのではないかと。予算の整理が必要かと思う。

会 長：市内は自治会が実施しているが大滝では役所が実施している。基金がなくなっても実施するのか。

委 員：委員以外で基金のことを知っている人はどれくらいいるのか疑問。

会 長：敬老会も含め予算の整理を検討してください。

事務局：了承した。

委員：シルバーパスの実績人数は。

事務局：資料のP4に記載されているとおりである。

委員：対象者数は何人か。

事務局：施設抜きだと概ね250名である。実際にはまだ使わないけど登録している方もいる。

### 議案第3号 地域自治区について

#### ○質疑応答

会長：反対・賛成を理由もつけてご意見等はありませんか。

委員：地域協議会がなくなったあとの基金の行く末はどうなるのか。デメリットの方が多い気がする。大滝独自でできる自由度があるべきだと思うので、自治区を継続するのがいいと思う。

市長：自治区がなくなると住所表記が変更になる。基金の在り方や大滝独自のことができなくなるのかなど改めて事務局から説明してはどうか。

事務局：自治区がなくなったからと言って、基金が伊達市の他のことに使われたりすることは恐らくないはず。諮問機関がなくなるので基金を今後どこへ充てていくかは市で協議することになる。ただ、意見を聞く場として残すこともできる。

委員：一番の問題は住所表記の変更か。

事務局：住所変更にかかなりの経費がかかり、あらゆる方面で影響が出てくると予想される。

会長：意見を言う場として地域協議会に代わる任意団体が必要になってくると思うが、地域協議会という名称は使えるのか。

事務局：地域協議会という名称にこだわることはない。

委員：大滝という名称に愛着を持っている人はたくさんいると思う。

市長：現時点で国としては、継続してもやめてもどちらでもいいという見解である。合併とともにできた方針であるため、国の方針が変更された場合は再度議論する必要がでてくる。自治区をやめることによるメリットは少ないと感じるが、やめた方がいいという意見もあるかと思い審議している。伊達市との一体感も必要だと思っている方がいるかと思っていた。

委員：大滝にあったサービスを受けられなくなる方が反発はあると思う。

事務局：この意見をもとにパブリックコメントを実施する。

委員：自治区を継続することに反対意見が多かったらどうするのか。

事務局：結果を見て検討する。

委員：継続するとしたら年数は。

事務局：10年を考えている。

市長：国の方針が変更になれば議題し、再検討することになる。

委員：子供の意見は聞けないのか。

事務局：この制度を理解するのは難しいかと思う。

委員：レイクカウチン町との交流に莫大な経費がかかっているの、時期をみてやめたらいいと思う。

事務局：大滝区は英語教育に力を入れているし、特色ある事業の一つなので市としては継続したいと考えている。基金がなくなったらその時に検討する。

会長：随行者はどれくらいいるのか。生徒の人数が少ないなら随行者の数も減らしてもいいのではないか。

市長：この特色ある事業が目的で大滝区に転入してくる人もいることからやめるにしても時期を検討しなくてはならない。必ずしもカナダではなければならぬのか、原資が基金だけでなくOBの人の寄付も集めたり、受益者負担も考える

など様々な手段があると思う。

委 員：国際交流職員を雇っている予算は基金ではないか。

事務局：基金ではない。

委 員：レイクカウチン町から来日しているのか。

事務局：そのとおりだ。

委 員：パブコメの時期は。

事務局：恐らく年明けになると思う。

会 長：他にないようですので、事務局からその他の事項で何かありますか。

事務局：特にありません。

## 8. 閉会